様式第３号

# 事務事業評価表（平成２６年度）

| 事業コード | 1031 | 課コード | 1502 | 会計種別 | 一般会計 | 予算の種類 | ■政策　■経常　□なし |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## １．事業の概要(PLAN)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| (1)事業概要 | ①事業名 | 基本事業 | | 実施計画への位置づけ | ●有　○無 |
| | | 個別事業 | 学校給食管理運営事業 | | |
| | ②部課名 | 教育総務部・学校教育課 | | | |
| | ③事業主体 | ●市　○その他（　） | | ④対象地区 | □我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市 |
| | ⑤事業期間 | ～ | | ⑥担当職員数 | 17 人　（換算人数　14.45 人） |
| | ⑦事業費（人件費含む） | 総事業費 | 176,540 千円 | 当該(開始)年度 | （当　初）165,250 千円　（うち人件費　134,385 千円）<br>（変更後）千円　（うち人件費　千円） |
| | ⑧施策の位置づけ | 施策コード | 52101 | 重点プロジェクトへの位置づけ | 重点５ |
| | | 基本計画地区別計画への位置づけ | ○有　●無 | 部門別計画への位置づけ | （計画名） |
| (2)目的 | 施策目的・展開方向 | 思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。 | | 事業目的 | 安全で良質な学校給食を提供する |
| (3)事業内容 | 内　容 | ・高野山小（直営）の給食調理業務。<br>・小、中学校（19校）の給食管理･指導業務。<br>・学校給食用消耗品等の購入や維持管理を行う。<br>・学校給食関係職員等の細菌検査を実施する。<br>・給食室施設の清掃保守点検を実施する。<br>・給食用小荷物専用昇降機保守点検を実施する。<br>・嘱託職員・臨時職員の人事管理全般を行う。<br>・給食食材の放射性物質測定 | | 当該年度執行計画 | ・年間を通し、高野山小の調理業務を行う。　・年間を通し、消耗品を購入する。<br>・年３回（６月・１０月・２月）市内１９校の給食室の点検を実施し、改善等の指導を行う。<br>・給食業務関係者の腸内細菌検査を毎月実施する。<br>・７，８月と１２月に給食室の大型清掃業務を行う。　・年間を通して小荷物専用保守点検を実施する。<br>・嘱託職員・臨時職員の賃金・保険等の事務管理を行う。<br>・給食食材の放射性物質を測定する。 |
| | | | | 当該年度活動結果指標 | 安心・安全でおいしい学校給食を実施できた日数　単位：日　想定値 185　実績値 |

| (4)達成目標(期待する成果) | 達成目標(期待する成果) | 指標種類 | 指　標 | 単位 | (5)現況値 | (6)目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 当該(開始)年度 | 直営校の円滑な給食調理業務及び消耗品等の維持管理・職員の細菌検査、施設の清掃保守点検を実施することで安全・安心な学校給食を実施を図る。 | 間接 | 安心・安全でおいしい学校給食を実施できた日数（年間予定日数を達成度１００％とする） | % | 98 | 100 |
| ３年後 | 直営校の円滑な給食調理業務及び消耗品等の維持管理・職員の細菌検査、施設の清掃保守点検を実施することで安全・安心な学校給食を実施を図る。 | 間接 | 安心・安全でおいしい学校給食を実施できた日数（年間予定日数を達成度１００％とする） | % | 0 | 100 |
| 最終(概ね５年後) | 直営校の円滑な給食調理業務及び消耗品等の維持管理・職員の細菌検査、施設の清掃保守点検を実施することで安全・安心な学校給食を実施を図る。 | 間接 | 安心・安全でおいしい学校給食を実施できた日数（年間予定日数を達成度１００％とする） | % | 0 | 100 |

| (7)事業実施上の課題と対応 | | 代替案検討 | ○有　●無 |
|---|---|---|---|

(8)施行事項

| | 平成２５年度 | | 平成２６年度 | | | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 政策 内　容 | 金額(千円) | 政策 内　容 | 金額(千円) | 実績値(千円) | 政策 内　容 | 金額(千円) | 政策 内　容 | 金額(千円) |
| 実施内容 費用 | 消耗品費 | 12,454 | 消耗品費 | 12,399 | | 消耗品費 | 12,399 | 消耗品費 | 12,399 |
| | 医薬材料費 | 10 | 手数料 | 1,068 | | 手数料 | 1,068 | 手数料 | 1,068 |
| | 手数料 | 1,219 | 委託・修繕費 | 2,427 | | 委託・修繕費 | 2,427 | 委託・修繕費 | 2,427 |
| | 委託・修繕費 | 6,820 | 報酬 | 2,135 | | 報酬 | 2,135 | 報酬 | 2,135 |
| | 報酬 | 2,135 | 保険料（社保・雇用） | 1,004 | | 保険料（社保・雇用） | 1,004 | 保険料（社保・雇用） | 1,004 |
| | 保険料（社保・雇用） | 387 | 賃金（臨時職員分） | 8,706 | | 賃金（臨時職員分） | 8,706 | 賃金（臨時職員分） | 8,706 |
| | 賃金(臨時職員分) | 7,043 | 旅費（費用弁償も含む） | 281 | | 旅費（費用弁償も含む） | 281 | 旅費（費用弁償も含む） | 281 |
| | 旅費（費用弁償も含む） | 135 | ＊食材購入費（放射性物質測定分） | 355 | | ＊食材購入費（放射性物質測定分） | 355 | | |
| | ＊食材購入費（放射性物質測定分） | 495 | ＊測定機器保守点検委託料 | 146 | | ＊測定機器保守点検委託料 | 146 | | |
| | ＊測定機器保守点検委託料 | 158 | ＊外部委託検査手数料 | 2,290 | | ＊外部委託検査手数料 | 2,290 | | |
| | ＊外部委託検査手数料 | 1,781 | ＊ソフト移管作業委託料 | 54 | | | | | |
| 予算(済)額 | 合　計 | 32,637 | 合　計 | 30,865 | | 合　計 | 30,811 | 合　計 | 28,020 |
| 国庫支出金 | 補助率 0 % | 0 | 補助率 0 % | 0 | | 補助率 0 % | 0 | 補助率 0 % | 0 |
| 県支出金 | 補助率 0 % | 0 | 補助率 0 % | 0 | | 補助率 0 % | 0 | 補助率 0 % | 0 |
| 起債 | 充当率 0 % | 0 | 充当率 0 % | 0 | | 充当率 0 % | 0 | 充当率 0 % | 0 |
| 一般財源 | | 32,637 | | 30,865 | | | 30,811 | | 28,020 |
| その他の財源 | □特会 □受益 □債務 □基金 □その他 | 0 | □特会 □受益 □債務 □基金 □その他 | 0 | | □特会 □受益 □債務 □基金 □その他 | 0 | □特会 □受益 □債務 □基金 □その他 | 0 |
| 換算人数(人) | | 14.45 | | 14.45 | | | 14.45 | | 14.45 |
| 正職員人件費 | | 134,385 | | 134,385 | | | 134,385 | | 134,385 |
| 嘱託職員報酬額 | | 2,135 | | 2,135 | | | 2,135 | | 2,135 |
| 臨時職員賃金額 | | 7,043 | | 7,043 | | | 7,043 | | 7,043 |
| 事業費(予算(済)額＋正職員人件費) | | 167,022 | | 165,250 | | | 165,196 | | 162,405 |
| (11)単位費用（事業費／活動結果指標） | 917.7千円／日 | | 893.24千円／日 | | | | | | |

## ２．事業の評価(DO+CHECK)

| 評価項目 | 事　前　評　価 | 事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む）） | 改善検討 |
|---|---|---|---|
| 必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性) | 学校給食の安全性、質の向上のために必要である。<br>法制度等に対応する必要・義務がある。 | ○①事前確認での想定どおり<br>○②事前確認での想定どおりでなかった<br>＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞ | ○要<br>○不要 |
| 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性） | ○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない<br>（理由）□法令等で市が実施することが定められている<br>□提供主体が市しかない<br>□その他<br>＜その他の内容＞<br>●②自治体である市が推進すべきである<br>（理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる<br>■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される<br>□市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる<br>□その他<br>＜その他の内容＞ | □①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった<br>□②市が主導で進めなければ実効性がなかった<br>□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された<br>□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した<br>□⑤サービス水準が確保された<br>□⑥サービスの安定供給基盤が確保された<br>□⑦その他<br>＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞<br>＜その他の内容＞ | ○要<br>○不要 |
| 参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり） | 参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り<br>○②事業実施時に市民の参画有り<br>○③管理・運営に市民の参画有り<br>○④市民の自主的な活動と連携している<br>○⑤市民と共同で事業を実施<br>●⑥その他<br>工夫の具体的な内容：<br>＜その他の内容＞<br>該当なし | 実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）：<br>参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上<br>○②当初期待したとおり<br>○③当初の期待以下<br>＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞ | ○要<br>○不要 |
| 環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？ | 配慮の視点：□①自然環境を生かしている<br>□②生き物と共存している<br>□③手賀沼を意識している<br>□④環境負荷低減に貢献している<br>■⑤その他<br>取組む内容：<br>＜その他の内容＞<br>該当なし | 実施した具体的な内容：<br>環境への配慮：○①想定どおり<br>○②想定どおりでなかった<br>＜想定どおりでなかった原因＞ | ○ 要<br>○ 不要 |
| 効率性 (1)目標設定は適切か？ | 現況値(a)(%)：98<br>目標値(b)(%)：100<br>目標値の妥当性のチェック：□①客観的なデータ・事実に基づき設定している<br>■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない<br>□③現況値との差が小さい値ではない<br>□④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である | 達成状況：実績値(f)(%)：<br>達成率(%)(f/b×100)：<br>○①目標値達成<br>○②目標値未達成<br>＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞ | ○要<br>○不要 |
| 効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？ | 対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円)：165,250<br>事業費削減額(d)(千円)：1,772<br>事業費削減率(%)：1.06<br>実施予定の対策：□①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用<br>□②現有体制での対応　□⑥受益者負担<br>□③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他<br>□④民間委託<br>＜削減の内容＞ | 実施状況：実績値(g)(千円)：<br>対事業費(%)(g/c)×100：<br>○①想定事業費未満<br>○②概ね想定事業費以内<br>○③想定事業費超過<br>＜超過理由等＞<br>事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり<br>○②事前の想定どおりでなかった<br>＜想定どおり削減できなかった原因＞ | ○要<br>○不要 |
| 効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用） | 目標値対事業費(e)：0.06　単位：%　費用単位：10万円<br>計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費<br>○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費 | 達成状況：実績値(h)：<br>対目標値(%)(h/e)×100：<br>○①目標値以上<br>○②目標値と同程度<br>○③目標値以下<br>＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞ | ○要<br>○不要 |

## ３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

| 評価 | 評価コメント | 改善策及び展開方向 |
|---|---|---|
| | | |